

第13回小田原市市民活動推進委員会 会議録

- 1 日時：平成31年2月13日（水）午後2時30分～
- 2 場所：小田原市生涯学習センターけやき 第2会議室
- 3 出席者：前田委員長、有賀副委員長、原田委員、益田委員、戸田委員、山田委員、大森委員、菴原委員、杉崎委員
関係者：UMECO指定管理者 松本センター長、椎野副センター長、奥津氏（議題（1）①のみ）
事務局：府川課長、村田副課長、岡崎主査、樽木主事
- 4 欠席者：加藤委員
- 5 資料：
 - ・次第
 - ・資料1-1 平成31年度おだわら市民交流センターUMECO実施予定事業
 - ・資料1-2 平成31年度UMECO事業一覧と実施時期
 - ・資料2 第8期小田原市市民活動推進委員会報告書（案）
 - ・資料3 平成32年度（2020年度）実施分小田原市市民提案型協働事業応募の手引き
 - ・資料5-1 平成31年度小田原市市民活動応援補助金 第二次審査実施要領（案）
 - ・資料5-2 平成31年度小田原市市民活動応援補助金 第二次審査採点表（見本）

6 会議内容

■ 開会

委員長：ただいまから、第13回小田原市市民活動推進委員会を開会する。

本委員会の会議は原則公開となっているが、議題（4）市民活動応援補助金について①第一次審査は、市民活動応援補助金の書類審査を実施するにあたり、市民の間に不当な影響が生じないようにし、かつ特定の者に不当な利益又は不利益を与えないようにするため、小田原市情報公開条例第24条第3項に基づき「非公開」とする。

■ 議題（1）諮問事項①平成31年度事業計画について

委員長：それでは、議題（1）①平成31年度事業計画について、に入る。本委員会は、議事に関係のある方に出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。本議題に関し、おだわら市民交流センターの指定管理者にお越しいただいているので、ご説明をお願いしたい。（指定管理者 資料1-1、1-2に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

小田原市市民活動応援補助金がUMECO市民活動応援補助金となるが、寄附金額30万円というのは、手を挙げてくれそうな方がいるのか。

指定管理者：現時点では具体的な申し出はないが、努力して達成したい。

委員長：市民活動入門講座の実績値が2回で、目標値が1回となっているが、なぜか。参加者数については、実績値よりも多く設定している。

指定管理者：市民活動についての理解は進んでいると思われるので、新たな切り口で一回実施してみたいと考えている。具体的には、市民活動とは何かという基本的な内容をパワーポイントで説明した上で、実際に活動している団体からの事例発表を見ていただき、市民活動を始めやすい機運をつくりだしていきたいと考えている。

委員：市民活動入門講座の実施時期が空欄になっているが、未定ということか。

指定管理者：内部で相談しながら今後決定するが、6月頃を予定している。

委員：学生支援について、目標値が実績値より大幅に低く設定されている。また、学生の参加が150人も見込めるといふことでよいか。

指定管理者：学生支援はティーサロンを統合した事業で、学生ではなくティーサロンの参加者を指標としている。実績値には今年度毎月開催しているティーサロンの参加者数を記載しており、北條五代祭りと同日開催の特別版も含んでいるため、大きな数字になっている。来年度は、学生支援の中のイベントとしてティーサロンを年に何回か開催するので、参加者数の目標値は今年度と比べると低く設定している。

委員：学生ということだが、中学生もいるのか。

指定管理者：高校生ボランティアグループ「パレット」を支援するもので、中学生は見込んでいない。

委員：目標値と実績値が対比でき、分かりやすい資料であるが、目的や実施内容等についても変更点に下線を引くなどしていただくと、さらに良くなると考える。

指定管理者：変更点としては、相談業務で月一回の予約相談を実施すること、市民活動団体と事業者との協働事業では新たな事業者との協働も模索すること等がある。今後はより分かりやすい資料を作成したい。

委員長：資料の表現への指摘については、事務局の方でも検討事項として記録しておいていただきたい。

それでは、議題（１）①については終了する。指定管理者はこれで退席となる。本日は、大変お忙しいところ、時間を割いていただき感謝する。

■ 議題（２）第８期委員会報告書について

委員長：それでは、議題（２）第８期委員会報告書について、説明をお願いしたい。

（事務局 資料２に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

５月の委員会までには目次も作成すると思うが、「資料３ 事例研究」は目次に研究した自治体名を記載するのか。また、中身を見ると「運営評価に関すること」と「補助金制度に関すること」に項目番号を付していないが、目次に表示する際に問題はないか。

事務局：前期の報告書では、目次には「資料３ 事例研究」とだけ記載していたので、同様の形を想定しており、問題ないのではないかと考えているが、自治体名等を表示すべき等、ご意見があれば伺いたい。

委員長：今後、全体のバランスを勘案しながら調整するのがよいだろう。

委員：資料２のページ数はどれくらいになるのか。また、内容については「意見集約シート」でまとめたものが入ることによるのか。

事務局：平成２９年度分の仮評価結果と同様の、２ページ程度と考えている。内容についてはお見込みのとおりで、「評価文案」の部分を転記するイメージである。

委員：第７期報告書は約４０ページであったが、今回は何ページくらいになるのか。

事務局：本日の時点で２４ページであるが、ここから全体の資料編を追加したり、体裁を整えるにあたり改ページを挿入するなど、１０ページ前後増えるのではないかと考えている。

委員長：「資料１ 第三者評価に係る様式集」「資料２ 平成３０年度おだわら市民交流センターＵＭＥＣＯ第三者評価」という順番だが、様式集を後ろにするのが自然とを感じる。様式を示した上で評価結果を示すというのかもしれないが、どちらが分かりやすいか。

事務局：答申書の「おわりに」の内容は、現時点では平成２９年度分の仮評価に基づいているが、平成３０年度分の評価実施後に、それに基づいた内容に変更したいと考えている。「おわりに」で評価の総括を先に示し、様式を挟んで評価の詳細を資料２として入れることになるので、それほど不自然ではないと考えている。

委員長：内容ではなく資料の順番に影響するだけであるので、平成３０年度分の評価結果等を踏まえ、適宜対応することとしたい。

次の報告書の検討を行うのは５月の会議となる。各委員において意見がある場合は、随時事務局への連絡をお願いする。

■ 議題（３）市民提案型協働事業について

委員長：それでは、議題（３）市民提案型協働事業について、説明をお願いしたい。

（事務局 資料３に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

小田原市では、「旧元号」や「新元号」という表記をすることになったのか。

事務局：新元号が発表されない時点で平成３１年４月１日以降の日付を表示する際は、「旧元号」を「新元号」に置き換える旨の注書きを付すことになった。

委員長：手引きを配布する４月１日時点では元号は変わっていない。「平成」のことを「旧元号」

とするのは問題があるのではないか。

事務局：本市の文書事務を所管する総務課から通知があり、「4月1日以降は和暦と西暦を併記する。」とともに、「5月1日以降の日付を新元号発表前に記載する場合は元号を置き換えるよう注書きを付す。」こととなった。示された注書きは、ほぼ資料3にあるとおりであるが、ご指摘はもっともであるので、この部分は総務課と相談し、「旧元号」ではなく「平成」に修正したい。

■ 議題（4）市民活動応援補助金について①第一次審査【非公開】

■ 議題（4）市民活動応援補助金について②第二次審査について

委員長：それでは、議題（4）市民活動応援補助金について②第二次審査について、説明をお願いしたい。

（事務局 資料5-1、5-2に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

委員：プレゼンテーション時は、総合評価については第一次審査時の自分の評価が分からない状態で採点していくということでしょうか。

事務局：第一次審査時の評価を参考にさせていただくことは差し支えない。第二次審査は第一次審査の点数を加味するものではなく、プレゼンテーションを聞いて改めて評価していただくことになっている。公益性については、第一次審査時とプレゼンテーション時で大きく変わることはないという考え方だが、変更があれば改めて採点し、修正していただくことが可能である。

委員：質疑応答について、質問への回答以外のことは発言しないよう、徹底していただきたい。

委員長：当日の司会において、徹底するようアナウンスするのがよいだろう。他自治体の事例では評価の減点対象となり得ることをアナウンスしている事例もある。

事務局：プレゼンテーション全体の司会は地域政策課長であり、アナウンスさせていただく。質疑応答時の司会は例年どおり委員長をお願いしたいので、適宜時間を区切っていただきたい。

■ その他

委員長：その他について、事務局から願います。

事務局：前回会議における、補助金制度のスケジュールに係る説明から、内容を変更したい箇所があるので、報告させていただく。12月末までに受け入れた寄附金を、翌年4月に交付する補助金の財源とする予定であったが、このたび指定管理者より、1月末までを寄附金の区切りとしたい、との提案があった。1月には多くの団体等が集まる新春交流会があり、その場で寄附を呼びかけたいと考えているためである。何かご意見などあれば伺いたい。

委員長：スケジュール面での不都合がなければ、問題ないのではないかと。

3月の会議では、補助金制度に係る検討を行うのか。

事務局：UMECOの要綱案の確認等をお願いしたいと考えている。

次に、今後の会議日程等について確認及び調整させていただく。

※今後の会議日程及び場所は次のとおりとする。

第14回委員会	・・・3月10日（日）終日	市役所
第15回委員会	・・・5月20日（月）午前	UMECO
第16回委員会（事業報告会）	・・・6月29日（土）午後2時～	UMECO

■ 閉会